



乗ってきました

「はむらん」電気バス視察

日本共産党市議団は、7月25日、本年3月に運行を開始した羽村市のコミュニティバス「はむらん」電気バスについて試乗調査してきました。瀧島 愛夫議長のあいさつの後、○市民生活部 宮崎長寿部長 ○市民生活部 防災安全課 中野秀之課長 ○市民生活部防災安全課 交通・防犯係 浅見義明係長の3名の職員が対応し、電気バス導入に至った経過や、導入費用などについて約1時間説明をしてくださいました。その後、充電するところを見学し、電気バスに試乗してきました。以下、視察の要旨を報告します。

電気バス購入でバス5台に

羽村市のコミュニティバス「はむらん」は、平成17年5月に運行が開始されました。

●運行の目的は

○交通不便地域の改善 ○高齢者、運転免許を持たない方などの交通手段の確保 ○「にぎわいの創出」による商店街の活性化 ○環境負荷の低減 ○バスの中の市民のふれあいを通じたコミュニティの醸成

●運行コース・運賃・バス台数は

運行当初はバス4台（1台は予備）4コース、今回、電気バスを導入しバス5台に、4コースから5コースに、運賃は一回100円（小学生以上）（平成24年4月25日現在）



「はむらん」電気バス充電しているところ

購入費用は国と都の補助金で

羽村市は環境に対する取り組みを広くアピールできることから電気バスの導入を検討し、平成24年3月10日に市役所を起点に羽村駅と小作駅を結ぶ「羽村中央コース」として運行開始しました。

バス購入の費用7358万2千円と充電施設費用1102万5千円、その他費用合わせて合計で8668万7千円、バス購入費と充電器の費用はすべて国土交通省と東京都の補助金で市の持ち出しは約157万円とのことです。

「はむらん」電気バス



運行開始後乗客81万人に

「はむらん」運行開始から平成24年3月まで、乗客は延べ81万490人、一日あたり361人の利用客があるとのこと。平成24年度の市の持ち出し（運行補助金）は5582万4千円です。

高齢者が家の中にとじこもらずに、外に出て市内で買い物などすることで、将来的には、介護保険や医療費が減ることにつながればよいと思っているとの話がされました。電気バス利用客も、散歩の帰りなど週3回は利用していると言っていました。また、あきる野市の折立地域（草花）の方も「はむらん」を利用して羽村市で買い物をしてもらっているとの話がされました。環境都市をめざすあきる野市でもぜひ電気バス導入を検討してほしいと思いました。

法律相談

8月17日（金）13時30分～15時

予約が必要です。市議団までご連絡ください。

※前回の市議団ニュースでは、8月30日となっていたが、弁護士の都合により17日に変更になりました。